【提案者】壱岐東部漁業協同組合　壱岐市　株式会社十八銀行　福岡県魚市場株式会社

【タイトル】漁船廃油と、冬季の遊休労働力を活用した、ナマコ等の養殖・高付加価値化・販売による地域資源循環の創造と、地域おこし協力隊等の外部人材を活用した情報発信・交流促進

提案等の概要

地域に今ある資源をフル活用した持続可能で低コストな循環サイクルの構築

県・市の養殖指導

資金流出削減
漁船廃油をボイラー用燃料として再活用することで燃油コスト・処理コストの双方を低減

持続可能・安定性
内海湾の良好な自然環境を活かし環境負荷が低く持続的・安定的な自然蓄養・採貝採藻業を実現

ナマコ・牡蠣等の養殖

ナマコ・牡蠣等の加工

壱岐東部
漁業協同組合

牡蠣殻等を活用した
漁礁の設置

雇用創出
冬季や荒天時の遊休労働力（繊細な加工技術をもつ海女等）を活用。地域に就労の場を創出

高付加価値加工品販売

経済効果
ナマコやアカモク等加工品や牡蠣・昆布等を販売し、安定的に外貨を獲得。地域の収入向上・安定化。

金融機関等の販路開拓支援

地域おこし協力隊を中心に、都市部住民との交流を促進。ワカモノ・ヨソモノの視点、発想力、情報発信力等とICT環境を活用した産品ブランド化を推進。